

地方競馬全国協会 会報

第 300 号 平成 20 年 4 月

目 次

<u>事業計画・事業報告</u>	平成 20 年度事業計画
<u>予算・決算</u>	平成 20 年度予算
<u>運営委員会・評議員会</u>	平成 19 年度第 2 回運営委員会の開催 平成 19 年度第 2 回評議員会の開催
<u>公示・入所試験関係</u>	厩舎関係者養成課程第 3 期生の追加募集
<u>競馬関係</u>	
登録関係	馬主及び馬の登録数調べ
騎手候補生関係	第 86 期騎手候補生の修了 第 88 期騎手候補生の入所
研修関係	研修実施状況（平成 20 年 1 月～3 月）
その他	平成 19 年度第 3 回補助金の交付決定について
<u>畜産振興関係</u>	
実施計画	平成 20 年度畜産振興補助事業の実施計画について 平成 20 年度競走馬生産振興補助事業の実施計画について
<u>規程関係</u>	
協会業務規程	地方競馬全国協会畜産振興事業補助実施要綱の一部変更
<u>人事</u>	平成 20 年 3 月～4 月
<u>できごと</u>	平成 20 年 3 月

平成 20 年度事業計画

インターネットホームページの
「情報公開・個人情報保護」をご覧ください。

平成 20 年度予算

畜 産 振 興 勘 定

収入			支出		
科 目	20年度	19年度	科 目	20年度	19年度
	千円	千円		千円	千円
交付金収入	3,045,442	2,902,427	畜産振興補助事業費	686,815	694,120
業務外収入	181,616	258,107	畜産振興事業費補助金	674,900	683,942
受入利息	39,400	22,640	畜産振興補助事務費	11,915	10,178
負担金収入	130,830	-	畜産振興事業費	253	186
雑収入	11,386	235,467	振替金		
前年度繰越金受入	370,929	1,132,551	競走馬生産振興勘定への振替	176,575	187,475
			繰入金	2,724,344	3,401,304
			競馬活性化勘定への繰入金	1,100,000	1,400,000
			管理勘定への繰入金	1,458,680	1,256,466
			退職給付引当金繰入	165,664	744,838
			予備費	10,000	10,000
収入合計	3,597,987	4,293,085	支出合計	3,597,987	4,293,085

競馬業務勘定

収入			支出		
科目	20年度	19年度	科目	20年度	19年度
	千円	千円		千円	千円
交付金収入	1,072,440	1,015,966	競馬業務費	874,545	771,718
競馬業務収入	47,028	46,629	登録業務費	8,283	6,370
登録料収入	15,415	15,415	免許業務費	5,883	5,880
免許手数料収入	1,982	2,076	調教師・騎手養成訓練業務費	138,371	139,221
専門職員派遣収入	3,617	4,505	専門職員養成訓練業務費	840	1,159
調教師・騎手等養成収入	26,014	24,633	専門職員派遣及びあっせん費	75,018	72,237
返還金・負担金			競馬公正化促進事業費	337,961	300,049
返還金収入	308,189	-	競馬振興促進費	308,189	246,802
業務外収入	82,363	489,581			
受入利息	20,420	5,511	繰入金	541,400	667,066
負担金収入	43,610	-	管理勘定への繰入金	486,191	418,787
雑収入	18,333	484,070	退職給付引当金繰入	55,209	248,279
前年度繰越金受入	0	0	予備費	10,000	10,000
収入合計	1,510,020	1,552,176	支出合計	1,425,945	1,448,784

競走馬生産振興勘定

収入			支出		
科目	20年度	19年度	科目	20年度	19年度
	千円	千円		千円	千円
交付金収入			競走馬生産振興事業費		
中央競馬会交付金収入	1,426,000	1,960,000	競走馬生産振興事業費補助金	2,469,800	2,887,200
振替金			競走馬生産振興事業事務費	275	275
畜産振興勘定から振替	176,575	187,475			
返還金・負担金					
返還金収入	867,500	-			
雑収入	-	740,000			
収入合計	2,470,075	2,887,475	支出合計	2,470,075	2,887,475

競馬活性化勘定

収入

支出

科 目	20年度	19年度	科 目	20年度	19年度
	千円	千円		千円	千円
交付金収入			競馬活性化事業費		
中央競馬会交付金収入	950,000	950,000	競馬活性化事業費補助金	1,900,000	1,900,000
繰入金			競馬活性化事業事務費	556,000	450,000
畜産振興勘定から繰入金	1,100,000	1,400,000			
返還金・負担金					
返還金収入	412,250	-			
雑収入	-	404,800			
収入合計	2,462,250	2,754,800	支出合計	2,456,000	2,350,000

管 理 勘 定

収入

支出

科 目	20年度	19年度	科 目	20年度	19年度
	千円	千円		千円	千円
繰入金					
畜産振興勘定から繰入金	1,458,680	1,256,466	管理費	1,824,976	1,577,835
競馬業務勘定から繰入金	486,191	418,787	企画広報費	119,895	97,418
収入合計	1,944,871	1,675,253	支出合計	1,944,871	1,675,253
収入総合計	8,763,757	9,900,061	支出総合計	8,673,432	9,391,869

平成 19 年度第 2 回運営委員会の開催

平成 19 年度第 2 回運営委員会は、3 月 11 日午後 1 時半から麻布台ビル南館 4 階の当会役員会議室において、農林水産省生産局競馬監督課長、総務省自治財政局地方債課長ほか関係係官の臨席を得て、運営委員 9 名（代理出席 7 名含む。）の出席のもと開催された。

協会から提出した平成 20 年度事業計画（案）及び同年度予算（案）並びに業務方法書の一部変更（案）、競馬開催日程及び番組編成の調整方針（案）及び共同利用施設設置等の実施方針（案）の議案について審議され、出席委員全員によって異議なく議決された。

なお、この事業計画（案）及び予算（案）は、平成 20 年 3 月 24 日付けで農林水産大臣の認可を得た。

また、1 号交付金の交付期限延長に対する協会意見を農林水産大臣に述べるため、運営委員会の議決を得る必要が生じたので、定款の規定に基づき、書面による表決を行い、3 月 26 日書面による議決を得た。

なお、同日付けで農林水産大臣あて意見書を提出した。

運営委員会委員

平成 20 年 3 月 31 日現在

任期 3 年（平成 20 年 1 月 10 日～平成 23 年 1 月 9 日）

主催者名	職名	氏名	備考
北海道	知事	高橋 はるみ	
岩手県競馬組合	管理者	達増 拓也	(岩手県知事)
特別区競馬組合	管理者	中山 弘子	(新宿区長)
神奈川県川崎競馬組合	管理者	羽田 慎司	(神奈川県副知事)
愛知県競馬組合	管理者	神田 真秋	(愛知県知事)
兵庫県競馬組合	管理者	五百蔵 俊彦	(兵庫県副知事)
佐賀県競馬組合	管理者	坂井 浩毅	(佐賀県副知事)
	学識経験者	中須 勇雄	(社)大日本水産会会長
	学識経験者	仲田 和雄	前特別区競馬組合副管理者

平成 19 年度第 2 回評議員会の開催

平成 19 年度第 2 回評議員会は、3 月 5 日午前 11 時から麻布台ビル北館 4 階の当会会議室において、農林水産省生産局競馬監督課長ほか関係係官の臨席を得て、評議員 10 名の出席のもと開催された。

協会から諮問した平成 20 年度事業計画（案）及び同年度予算（案）並びに業務方法書の一部変更（案）の議案について審議され、出席評議員全員によって異議なく了承された。

評議員

平成 20 年 3 月 31 日現在 五十音順

任期 3 年（平成 20 年 2 月 14 日～平成 23 年 2 月 13 日）

氏 名	職 名
青 池 勲	全国公営競馬馬主連合会会長
穴 見 盛 雄	（社）熊本県畜産協会会長
今 原 照 之	（社）日本軽種馬協会副会長・常務理事
岩 崎 充 利	（財）全国競馬・畜産振興会会長
高 橋 秀 昌	胆振軽種馬農業協同組合代表理事組合長
中 島 靖 夫	日本放送協会報道局報道番組センタースポ-ツ部長
中 谷 美津男	（社）兵庫県馬主協会会長
菱 沼 毅	（社）中央畜産会副会長
本 田 浩 次	（社）日本酪農乳業協会会長
廻 洋 子	淑徳大学国際コミュニケーション学部教授
矢 作 和 人	全国公営競馬調教師会連合会会長
米 村 恵 子	江戸川大学社会学部教授

厩舎関係者養成課程第3期生の追加募集

NAR 地方競馬教養センターでは、「厩舎関係者養成課程」平成 20 年度（第 3 期生）を下記のとおり追加募集します。

厩舎関係者養成課程 追加募集要領

平成 20 年度 第 3 期生

1. 募 集 人 員	若干名
2. 養 成 期 間	平成 20 年 8 月下旬～21 年 1 月中旬（5 ヶ月間）
3. 養 成 場 所	地方競馬全国協会 地方競馬教養センター（栃木県那須塩原市接骨 443）
4. 応 募 資 格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校卒業以上の学歴で入所時の年齢が 25 歳以下の者 ・ 体重が概ね 65kg 以下の者 ・ 乗馬を行うのに身体等に著しい障害のない者 ・ 地方競馬及び生産・育成牧場等に従事しようとしている者 ・ 乗馬経験不問
5. 申請の手続き	<p>入所を希望する者は、次に掲げる書類を地方競馬教養センターに提出すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 選考申請書 (2) 履歴書 (3) 身体検査書（提出日前 3 ヶ月以内に作成されたものに限る） (4) 念書（ 成年被後見人、被保佐人又は破産者で復権を得ない者 禁錮以上の刑に処せられた者 競馬法、日本中央競馬会法、自転車技法、小型自動車競走法又はモーターボート競走法の規定に違反して罰金の刑に処せられた者のいずれにも該当していない旨を記載して記名押印し又は署名したもの） (5) 住民票記載事項証明書 (6) 作文 (7) 写真 2 葉（端正な服装をした正面上半身脱帽のライカ版（縦 36mm、横 24mm）の写真で提出日前 3 ヶ月以内に撮影されたもの。裏面に氏名を記載すること。）
6. 応募受付期間	平成 20 年 4 月 28 日（月）～平成 20 年 5 月 30 日（金）
7. 提 出 場 所	<p>地方競馬全国協会 地方競馬教養センター</p> <p style="text-align: center;">〒 329-2807 栃木県那須塩原市接骨木 443</p> <p style="text-align: center;">0287-36-5511 Fax 0287-36-5513</p>
8. 書 類 審 査	申請締切後書類審査を行う。
9. 面 接 審 査	<p>書類審査合格者に対し、6 月 12 日（木）に面接審査を行う。</p> <p>面接場所 地方競馬教養センター（旅費等は自己負担）</p>

10. 入所許可の通知	入所の許可は、平成 20 年 6 月下旬に地方競馬全国協会地方競馬教養センターから本人に通知する。
11. 費用負担	<p>入学金 25,000 円</p> <p>授業料 315,000 円 (1 ヶ月 63,000 円×5 ヶ月)</p> <p>食材費 約 180,000 円 (1 日 1,200 円×150 日)</p> <p>(入所時に約 52 万円の納付が必要、課外教育費約 50,000 円別途必要)</p>
12. 居 住 場 所	当センター内寄宿舎(使用料は授業料に含む)
13. そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・入所中の訓練に起因する事故等で傷病にかかったとき又は死亡したときは、「地方競馬全国協会講習生災害補償給付規定」により災害補償給付を行う。 ・乗馬に必要な装具(乗馬ズボン・長靴・ヘルメット・プロテクター等)は各人で用意すること。(装具の斡旋は可能) ・長期の受講が困難な者を対象として、1 ヶ月未満を教育期間とした聴講生制度を設けているので、希望者は問い合わせること。 ・その他不明な点については、地方競馬教養センター養成課に問い合わせること。 <p style="text-align: center;">入所許可通知は3月中旬に通知しますが、入所は8月中旬で5ヶ月先になります。その間に念書に掲げる事項等に違反する行為があった場合は、入所許可を取り消すことがあります。</p>

馬主および馬の登録数調べ

平成 20 年 3 月分 登録件数等

区 分	登 録	抹 消	登録証 再交付	登録事項変更			
				住所	馬主	馬名	他
馬 主	1	2	4	15			5
馬	412	289	0		215	2	7

競走種別・年齢別の馬登録頭数

種別 年齢	平 地			ばん えい	計
	サラ系	アラ系	小計		
1 歳	0	0	0	0	0
2 歳	217	0	217	4	221
3 歳	99	0	99	0	99
4 歳	42	0	42	0	42
5 歳	28	0	28	0	28
6 歳以上	22	0	22	0	22
計	408	0	408	4	412

ただし、登録事項の変更及び抹消については3月中に事務処理済みの件数である。

第 86 期騎手候補生の修了

協会は、第 86 期騎手候補生の修了式を 3 月 28 日地方競馬教養センターにおいて行った。

修了した者は 9 名で次のとおりである。また、同時に騎手免許試験に合格した修了者 9 名全員に騎手免許証を交付した。

都道府県	氏 名	性 別	年 齢	所 属 調 教 師
北海道	黒 澤 愛 人	男	2 1	恵多谷 豊
千葉県	川 島 正太郎	〃	1 7	川 島 正 行
〃	澤 田 龍 哉	〃	1 7	坂 本 昇
愛知県	友 森 翔太郎	〃	1 9	安 部 弘 一
〃	阪 野 学	〃	1 9	井 上 哲
兵庫県	上 村 勇 人	〃	1 9	森 澤 友 貴
〃	大 柿 一 真	〃	1 8	山 口 浩 幸
〃	岡 田 晴 樹	〃	1 7	吉 行 龍 穂
佐賀県	大 澤 誠志郎	〃	2 0	真 島 元 徳

(年齢は 3 月 31 日現在)

第 88 期騎手候補生の入所

協会は、第 88 期騎手候補生の入所式を 4 月 3 日地方競馬教養センターにおいて行った。
入所試験に合格し、入所した者は 13 名で次のとおりである。

都道府県	氏 名	性 別	年 齢	所属予定調教師
岩手県	千 田 洋	男	1 8	未 定
宮城県	菅 原 辰 徳	〃	1 5	未 定
埼玉県	小 林 謙	〃	2 0	小久保 智
東京都	仲 野 光 馬	〃	1 8	未 定
〃	吉 田 真 理	〃	1 7	蛭 名 未五郎
神奈川県	渡 部 大 輝	〃	1 7	未 定
山梨県	村 松 翔 太	〃	1 5	未 定
岐阜県	横 川 怜 央	〃	1 5	未 定
三重県	森 島 貴 之	〃	1 9	未 定
京都府	糸 井 拓 哉	〃	1 7	未 定
大阪府	田 野 豊 三	〃	1 5	未 定
兵庫県	杉 浦 健 太	〃	1 5	未 定
高知県	岡 村 卓 弥	〃	1 5	未 定

小林謙は 87 期から休学編入

(年齢は 4 月 1 日現在)

研修実施状況（平成 20 年 1 月～3 月）

平成 19 年度ばんえい新人騎手訓練

平成 20 年 1 月 22 日（火）～25 日（金） 4 日間 2 名

場所 地方競馬教養センター

北 海 道	西 謙 一	北 海 道	船 山 蔵 人
-------	-------	-------	---------

平成 19 年度第 6 回騎手研修講座

平成 20 年 1 月 22 日（火）～25 日（金） 4 日間 1 名

場所 地方競馬教養センター

東 京 都	的 場 文 男
-------	---------

平成 19 年度第 7 回騎手研修講座

平成 20 年 3 月 10 日（月）～11 日（火） 2 日間 1 名

場所 大井競馬場裁決委員室

東 京 都	和 田 讓 治
-------	---------

平成 19 年度第 4 階調教師課程

平成 20 年 2 月 4 日（月）～22 日（金） 19 日間 1 名

岩 手 県	吉 田 司
-------	-------

平成 19 年度第 2 回発走委員業務研修

平成 20 年 3 月 17 日（月）～28 日（金） 12 日間 2 名

場所 地方競馬教養センター、浦和競馬場、中山競馬場

神 奈 川 県	服 部 聡	高 知 県	浅 野 清 成
---------	-------	-------	---------

平成 19 年度 第 5 回調教師研修講座

平成 20 年 3 月 24 日（月） 1 日 4 名

場所：地方競馬全国協会 会議室

佐 賀 県	上 川 薫	熊 本 県	工 藤 榮 一
	山 下 清		松 島 壽

平成 19 年度第 3 回補助金の交付決定について

平成 19 年度競馬活性化補助事業の選定に関して、平成 20 年 3 月 17 日付けで農林水産大臣承認（第 3 回）を受け、これに基づき次のとおり補助金の交付の決定を行った。

団体別一覧表

平成 19 年度第 3 回競馬活性化補助事業交付決定状況

都道県名	補助事業名	補助事業者名	交付決定件数	交付決定金額 (千円)
北海道	競馬活性化補助事業 (競馬連携補助事業)	北海道	1	21,179
岩手県	"	岩手県競馬組合	1	1,802
埼玉県	"	埼玉県浦和競馬組合	1	20,969
千葉県	"	千葉県競馬組合	1	23,032
東京都	"	特別区競馬組合	1	45,263
神奈川県	"	神奈川県川崎競馬組合	1	27,568
石川県	"	石川県	1	7,304
"	"	金沢市	1	1,168
愛知県	"	愛知県競馬組合	1	6,541
兵庫県	"	兵庫県競馬組合	1	19,942
広島県	"	福山市	1	15,796
高知県	"	高知県競馬組合	1	5,024
佐賀県	"	佐賀県競馬組合	1	11,588
熊本県	"	荒尾競馬組合	1	1,455
計			14	208,631

(注 1) 平成 20 年 1 月 1 日施行の競馬法及び日本中央競馬会法の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 76 号。以下「改正法」という。）附則第 3 条により、改正法施行前の認定競馬連携計画に基づいて行う競馬連携補助事業は、改正法施行後は認定競馬活性化計画に基づいて行う競馬活性化補助事業とみなされた。

(注 2) 平成 19 年度の交付決定は、改正法施行前に 2 回、改正法施行後に 1 回、計 3 回行った。

平成 20 年度畜産振興補助事業の実施計画について

畜産振興補助事業の実施に当たっては、「平成 20 年度畜産振興補助事業の実施方針」に基づき、畜産振興事業補助実施要綱に定める事業区分ごとに下表のとりの補助額とし、個々の事業の必要性と補助の効果について一層の精査を行い、効率的な事業の実施に努めるものとする。

なお、補助事業の選定に当たっては、適正かつ効率的な事業運営を行うため、当該年度の売得金の推移を勘案しつつ、緊急度の高いものから選定するものとし、必要に応じて事業区分ごとの額の変更を行うものとする。

事業区分	補助額(千円)
馬の改良増殖推進事業	182,506
畜産経営技術指導事業	470,692
畜産経営合理化事業	5,000
家畜畜産物等流通合理化事業	0
その他畜産振興事業	16,702
合計	674,900

平成 20 年度競走馬生産振興補助事業の実施計画について

競馬関係団体等が行う軽種馬の生産対策及び登録業務、並びに生産育成地における軽種馬の予防接種推進等の衛生確保対策等の事業について補助を行い、地方競馬の円滑な運営に資することとする。

また、地方競馬の事業からの撤退、認定競馬活性化計画の実施その他の地方競馬をめぐる情勢の変化に対応して行う競走馬の生産の振興に資するための事業につきその経費を補助し、もって競走馬の生産対策全体を再構築し、生産の改革に取り組むものとする。

事業の実施に当たっては、事業区分ごとに下表のとりの補助額とし、関係団体との連携と協力を密にし、より効率的、効果的な事業の実施に努めるものとする。

事業区分	補助額（千円）
競走馬の改良増殖推進事業	107,828
競走馬等の防疫衛生対策事業	68,472
組織化等対策事業	2,293,088
経営基盤強化対策事業	
供給縮小対策事業	
合 計	2,469,388

(注) 及び の事業にあつては、畜産振興補助事業から競走馬に係る補助を組み替えた額である。

地方競馬全国協会畜産振興事業補助実施要綱の一部変更

畜産振興事業補助実施要綱（昭和 53 年 11 月 14 日制定）の一部を別紙新旧対照表のとおり変更する。

附 則

1. この要綱の一部変更は、平成 20 年 3 月 21 日から実施する。
2. この要綱の一部変更による変更後の規定は、平成 20 年度以降の補助事業から適用し、平成 19 年度以前に選定した補助事業については、なお従前の例による。

畜産振興事業補助実施要綱新旧対照表

変 更 後	現 行
<p>第 1 ～ 第 1 2 略</p> <p>第 1 3 補助金の額の確定とその通知 略</p> <p>第 1 4 ～ 第 1 9 略</p> <p>第 2 0 補助事業及び間接補助事業の監査</p> <p>1. 略</p> <p>2. <u>協会は、協会の理事長が特に指定した事業については、公認会計士法（昭和 2 3 年法律第 1 0 3 号）第 1 条の 3 の 3 の規定に基づく監査法人等による監査を実施することがある。</u></p> <p>第 2 1 ～ 第 2 3 略</p>	<p>第 1 ～ 第 1 2 略</p> <p>第 1 3 補助金の確定の通知 略</p> <p>第 1 4 ～ 第 1 9 略</p> <p>第 2 0 補助事業及び間接補助事業の監査 略</p> <p>第 2 1 ～ 第 2 3 略</p>

畜産振興事業補助実施要綱（別表）新旧対照表

変 更 後						現 行					
補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間	補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間
馬の改良増殖推進事業	(1) 登録推進	略	略	略	略	馬の改良増殖推進事業	(1) 登録推進	略	略	略	略
	(2) 種雄馬の導入	略	略	略	略		(2) 種雄馬の導入	略	略	略	略
	(3) 農用種雌馬の改良増殖推進 — 奨励金交付事業 ア 略 イ 次のいずれかの事業を実施していること。 (ア) 略 (イ) 略 ウ 略 (ア) 略 (イ) 同規程に基づく繁殖登録について、導入にあつては既に登録を受けたもの又は当該年度から起算して3カ年以内に受けるもの、自家保留にあつては当該年度に登録を受けたものであること。 (ウ) 略	略	略	略	略		(3) 農用種雌馬の改良増殖推進 ア 略 イ 次の事業を実施していること。 。 (ア) 略 (イ) 略 ウ 略 (ア) 略 (イ) 同規程に基づく繁殖登録について、導入にあつては既に登録を受けたもの又は将来受けるもの、自家保留にあつては当該年度に登録を受けたものであること。 (ウ) 略	略	略	略	略

変 更 後						現 行					
補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間	補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間
馬の改良増殖推進事業	(工) 当該年から起算して3年間、繁殖の用に供されること。 エ 奨励金の交付対象となる農用種雌馬のその他の要件は別に定める。					馬の改良増殖推進事業	(工) 当該年から起算して3年間、繁殖に供されること。				
	一 導入貸付事業 ア 都道府県の馬事振興計画に基づき実施されるものであり、確かな飼養管理等の技術指導者がいること。 イ 次のいずれかの事業を実施していること。 (ア) 純粋種の農用種雌馬を導入し、飼養者に3年以上の貸付契約により貸し付ける事業	都道府県畜産協会等 農業協同組合 農業協同組合連合会 公社等 馬事団体	純粋種雌馬導入費 農用種雌馬導入費 事務手数料	定額 定額 定額	平成20年度から3年間以内	(新設)					

変 更 後						現 行					
補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間	補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間
馬の改良増殖推進事業	<p>(イ) 農用種雌馬(純粋種を除く。)を導入し、飼養者に3年以上の貸付契約により貸し付け、増頭を行う事業</p> <p>ウ 導入費の対象となる農用種雌馬は、次の要件を満たすものであること。</p> <p>(ア) 社団法人日本馬事協会の種馬登録規程に基づく血統登録を受けた純系馬であること。</p> <p>(イ) 同規程に基づく繁殖登録について、既に登録を受けたもの又は貸付契約期間内に受けるものであること。</p> <p>(ウ) 年齢について、購買時3歳以下であること。ただし、ばんえい競馬の出走馬にあつては、8歳以下であること。</p>					馬の改良増殖推進事業					

変 更 後						現 行					
補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間	補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間
馬の改良増殖推進事業	(工)当該年から起算して3ヵ年間、繁殖の用に供されること。 工 導入費の対象となる農用種雌馬のその他の要件は別に定める。					馬の改良増殖推進事業					
	(4)農用馬の繁殖奨励 優良種雄馬繁殖奨励	略	略	略	略		(4)農用馬の繁殖奨励 優良種雄馬繁殖奨励	略	略	略	略
	子馬生産奨励	略	略	略	略		子馬生産奨励	略	略	略	略
	改良促進奨励	略	略	略	略		改良促進奨励	略	略	略	略
	生産技術指導	略	略	略	略		生産技術指導	略	略	略	略
	(5)その他	略	略	略	略		(5)その他	略	略	略	略
畜産経営技術指導事業	(1)地域畜産支援指導等体制強化	略	略	略	略	畜産経営技術指導事業	(1)地域畜産支援指導等体制強化	略	略	略	略
	(2)その他	略	略	略	略		(2)その他	略	略	略	略
畜産経営合理化事業	略	略	略	略	略	畜産経営合理化事業	略	略	略	略	略

変 更 後						現 行					
補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間	補助事業名	補助事業の要件	事業主体	補助の対象	補助率等	補助事業の実施期間
家畜畜産物等流通合理化事業	略	略	略	略	略	家畜畜産物等流通合理化事業	略	略	略	略	略
その他畜産振興事業	略	略	略	略	略	その他畜産振興事業	略	略	略	略	略

人 事

【職員の退職】（平成20年3月31日付け）

大森 一義（総務部長）
戸ヶ崎孝男（企画・事業部調査役、（株）日本レーシングサービス派遣）
三田 基（企画・事業部調査役、（株）日本レーシングサービス派遣）
初見 雄一（公正部専門役）
倉田 直次（公正部専門役）
横川 浩二（総務部総務課長）
岡本美津子（畜産振興部主査）
宮下 直之（企画・事業部付主査、オッズパーク（株）派遣）
松本 進（管理課主任）
岡村 勇（管理課主任）
郡司 良一（管理課主任）

【職員の配置換】（平成20年4月1日付け） 部長職

総務部長（監査室長併任） 瀧島 利雄（公正部長）
広報・情報部長 留守 悟（企画・事業部次長）
公正部長 川名部哲夫（公正部首席公正専門役）

氏名の括弧内は異動前の役職

できごと

平成20年3月

3月 5日 第2回評議員会
11日 第2回運営委員会
17日 第4回免許試験委員会
18日 ダート競走格付け委員会
19日 第2回畜産振興補助事業評価委員会
28日 第86期騎手候補生修了式（地方競馬教養センター）